

# 山弓連

平成 20年

6月 発行

## 全日本選手権大会関東予選会

### 関東選抜選手権大秋 県代表決まる

5月25日小瀬武道館弓道場において全日本選手権関東予選会（7月17日宇都宮）と関東選抜選手権大会（9月14日水戸市）への山弓連代表を選出する県内最終予選会が行われた。これは4月20日の段位別選手権大会で羽分け以上の的中者と参加者の中から会長推薦者の方々が参加して行われたもので、代表に選ばれた選手達はさすがに的中率も高く、体配、射形も整い安定感のある射が披露された。欲を言えば、詰合い・伸合い、澄ましへもう少し意を注げば、的中率も一層高まるのではないかと思われる。本番に向けて更なる稽古の上に、好成績を期待したい。

#### ○ 全日本選手権大会関東代表決定大会への出場者

男子： 佐野辰巳、芦沢茂幸、松田恭昭、  
和智一雄、(補) 中込 実

女子： 佐野弥生

#### ○ 関東選抜選手権大会

有段者の部： 細野晃史、河西宏斉、酒井紀夫、  
坂牧梨沙、渡辺幸太

称号者の部： 西堀泰弘、望月勝男、古屋浩元、  
中込 実、京ヶ島俊人、(補) 若杉年久

### 国民体育大会の様変わり

これまで折に触れご案内してきたように、今年10月大分県で開催される国体から参加総人数が削減されます。この為、弓道競技への参加は全国9ブロックから選手、監督を含めて314名に絞られました。できるだけ多くのチームが参加できるように全弓連では4種別（少年男子・少年女子、成年男子・成年女子）のうち、少年男女は従来通り選手の他に監督を設けるが、成年男女は選手の内一名が監督を兼ねる方法を採用しました。この結果、種別毎の全国参加チーム数は少年男子19、少年女子19、成年男子30、成年女子24と決定され、これを受けて、我が関東ブロックでは、少年男女は従来と同じく3チームずつ、成年男子は5チーム、成年女子は4チームと割り振られました。

従って、県内で国体選手として選ばれた成年男子チームは、昨年まではストレートに本国体の競技に参加できましたが、本年からは関東ブロックの予選

会で上位5チーム以内に入らなければなりません。

関東ブロック（通称 関ブロ）に所属する8都県の各弓道連盟では、この新しい枠組みの中で、本国体参加を目指した新たな意気込みで選手強化に取り組んでおります。

山弓連でも早期から選手強化に取り組み、少年女子では関東大会で優勝した巨摩高校女子チームの活躍もあり、期待の持てる滑り出しを見せております。成年男女もこれまで以上に強化選手が増加し、全体のレベルアップが図られました。関東ブロック予選はもとより、本大会へ出場し、大いに活躍してほしいものです。

今後の更なる変容は、平成25年度の国体から、監督に当たる人は公認スポーツ指導員の資格が必要になります。成年男女の場合は選手の中の一人が監督を兼ねる為、選手になる人は（財）日本体育協会が定める「指導員」「上級指導員」「コーチ」「上級コーチ」等のいずれかの資格を所有しなければなりません。

山弓連の中にも既に「コーチ」に相当する資格所有者が相当数おりますが、現在、並びに将来、成年男子、成年女子の選手層になる方々に是非所有して頂かなければならない資格です。最少でも20名の申請者が必要となる講習会に今年度も40名近い数の方々が「指導員」の資格獲得を目指しております。9月以降の県内講習会や特別設定の講習会を予定しています。職場環境、生活環境が厳しい世相の中ですが、今後の国体競技参加への道を閉ざさないためにも、若い世代の方々のご奮起を切に期待致します。 **国体選手決定**

去る6月15日小瀬武道館弓道場において、国体関東ブロック予選に出場する成年選手の最終決定選考会が開かれました。男子12名、女子11名が参加し、近的四ツ矢2回、遠的四ツ矢2回の演武を行いました。さすがに強化練習の成果が現れており、全体的に頼もしさを感じ取りました。選考され選手に選ばれた人たちは体配・射術ともに安定しており、遠的の得点と近的的中数でも高いものを示しておりました。当日の演武の様子のみならず、これまでの練習中の射術や精神的安定度なども考慮され、天野会長、古屋副会長、笹本理事長、深沢選手強化部長、深沢勇監督、佐野弥生監督等の慎重審議の中で決定された。

また、少年選手については、これまで高体連弓道専門部の先生方を中心に強化練習が積み重ねられ、高校独自の県内外の試合や大会を通じて一般高校生

は勿論のこと、強化選手達の活躍を含めて、射技射術の向上が一段と図られてきた。強化選手にもなっている巨摩高校女子2名を含むチームが関東高校弓道大会で個人、団体ともに優勝するという快挙も成し遂げ、国体関東ブロック予選に向けて幸先のよいスタートを切った。

以上のような中で次の選手達が本年の山弓連代表として決定された。成年男子：渡辺幸太、細野晃史、中込 実（監督兼任）成年女子：野矢晴香、河西映里、佐野弥生（監督兼任）少年男子：監督 青野孝文（桂高教諭）選手 柳田篤志（北杜高）、板山 繁（韮崎高）、内藤淳貴（韮崎高）

少年女子：監督 中沢友二（富士北稜高教諭）選手 相原英由美（巨摩高）、渡部結衣（富士北稜高）大木春奈（巨摩高）

以上の方々には8月24日の関プロ大会を見事突破して本大会へ臨んでいただきたい。また、選考されなかった方々も共に強化練習を続けて、次年度への備えと捲土重来を期して長期的視野の中での弓道修行に取り組んで下さい。

### 関東ブロック大会 小瀬で開催

新しい枠組みの中、第63回国民体育大会関東ブロック大会は来る8月23日（土）、24日（日）の両日、山弓連主管のもと小瀬武道館弓道場で開催されます。山弓連役員を中心に大会運営の諸準備をしております。称号受有者、支部長さん方を中心に各係主任をご依頼し、既に第1回目の打合会を致しました。成年男子も予選を実施する為、これまで経験してきた大会より時間的にも、成績処理にも工夫する要素が増えています。会員の皆様には物心両面でのご協力を期待しております。また、運営役員になられる方は勿論のこと、会員の皆様には是非8月24日（日）の競技会には絶大なる応援をお願い致します。新たな枠組みで行われる関プロ大会のモデルケースとなる今大会には、他県からも視察員をはじめ多くの応援団も詰めかける模様です。山弓連全員の力を結集し、大会を盛り上げ、成功させたいと願っております。

### ミニ国体少年選手について

少年男子

大前 柳田篤志（北杜高校）3年

中 板山 繁（韮崎高校）3年

大落 内藤淳貴（韮崎高校）3年

柳田は昨年もミニ国体の選手として出場チーム唯一の経験者昨年関東大会に出場技能賞を獲得。板山は今年に入ってから調子を上げてきた選手。

内藤は韮崎高校のエース。共に昨年新人大会団体優勝 全国選抜大会・東日本大会団体出場本年関東大会出場 団体技能賞本年インターハイ県予選団体優勝など数々の実績を持つ。本年は、栃木・神奈川・茨城が調子を上げている。実力を出し切れればミニ国体突破の可能性は十分ある。

少年女子大前 相原英由美（巨摩高校）3年  
中 渡部結衣（富士北稜高校）3年  
大落 大木春奈（巨摩高校）3年

相原・大木は巨摩高校の中心選手。昨年の関東大会から今年の県高校総体までほとんどの大会で団体優勝。2人とも近年希に見る好選手。

本年関東大会では見事団体優勝。相原については、試合直前に右足甲を骨折してしまい、車いすを使用するの入退場など満身創痍での出場となったが、見事団体優勝個人優勝も果たした。相原は大会期間中総射数33射33中の関東大会初の偉業も達成。渡部結衣も富士北稜の中心選手、昨年ミニ国体の補欠として唯一ミニ国体を経験。昨年関東個人選抜大会出場を果たすなど活躍。バランスの取れた素直な弓を引く特に遠的の調子が良く、期待が持てる。男子同様3人が普段通りの力を出し切れればミニ国体突破は確実。

### 関東高等学校弓道大会 5月30日～6月1日

宇都宮

女子団体 優勝 巨摩高校（相原、中込、大木）

女子個人 優勝 巨摩高校 相原 英由美

第8位 巨摩高校 大木 春奈

技能優秀校男子団体 山梨県 韮崎高校

女子団体 山梨県 巨摩高校

男子個人 山梨県 韮崎高校内藤 淳貴

決勝トーナメント 女子の部 団体

1回戦 2回戦 準決勝 同中競射

巨摩高校 ⑩ 巨摩高校⑨ 巨摩高校⑨ ③

土浦第二高⑦ 江戸崎高⑧ 慶応女子⑨ ①

決勝

巨摩高校 ①

宇都宮南 ⑨

# 優勝

（山梨県高体連弓道専門部 委員長 五味光仁）

### ◇ 段位別兼全日本・関東選抜予選（一次）大会 ◇

平成20年4月20日（日）

参加申し込み総数 104名

大会役員・競技役員 24名

競技開始時間 9:42

競技終了時間 15:03

◇三段以下の部 参加申し込み 39名

計8射

（裏面に続く）

順位	氏名	支部名	段位	的中	競射結果
優勝	上條剛央	上野原	三段	7	×○○
2位	坂牧雅夫	笛吹	三段	7	×○×
3位	渡辺正樹	富士吉田市	二段	6	

大会名 第54回都留市制祝賀弓道大会

射数 8射

一般の部

優勝 佐野辰己 6中  
2位 白須吉人 6中  
3位 斉藤重蔵 5中

高校生の部

優勝 名田屋李紗 5中  
2位 相川知里 3中  
3位 秋山結香 1中

中学生の部

優勝 滝口誠 7中  
2位 小山里菜 5中  
3位 奥秋卓 3中

6中者4名による遠近競射により3位決定  
◇四段の部 参加申し込み 20名 計8射

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果
優勝	渡辺幸太	富士吉田	四段	7	
2位	日向良和	都留	四段	6	
3位	藤原直之	笛吹	四段	6	

6中者2名による遠近競射により2、3位決定  
◇五段の部 参加申し込み 19名 計8射

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果
優勝	酒井紀夫	都留	五段	8	
2位	深沢勇	南ア	五段	6	
3位	細野晃史	甲府	五段	6	

6中者5名による遠近競射により2、3位決定  
◇称号の部 参加申し込み 29名 計8射

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果
優勝	中込実	南ア	錬五	8	
2位	宮下貞雄	上野原	錬五	7	
3位	竹村榮壽	甲府	錬五	7	

7中者2名による遠近競射により2、3位決定

### 第54回都留市制祝賀弓道大会

平成20年4月13日(日)曇り 参加人数 57名

当日は花寒の中、満開の桜に見守られながら第54回都留市制祝賀弓道大会が市内中学生、県内弓友各位多数のご参加を得ておこなわれました。

高部支部長の矢渡しの後、中学生から四つ矢ニ立、計八射で競われました。

中学生では滝口誠君がいきなりの皆中！ニ立目も三中と全参加者中でも最も的中しました。一般の部では佐野辰己さんと白須吉人さんとの一騎打ちとなり、佐野選手が一日の長にて優勝となり、本年度より設けられました平常心大賞の優勝カップを手に入れました。非常に肌寒い中皆さんお疲れ様でした。

(都留支部日向良和)

### あやめ祭り弓道大会

平成20年5月11日(日)天気 雨後曇り

参加人数 87名

第29回あやめ祭り弓道大会が平成20年5月11日に行われました、前日より降り始めた雨も大会直前にあがり遠くは埼玉県、県下全域より87名の参加がありました。競技は近的8射遠的8射計16射を個人戦で行いました。(増穂町小澤重平)

試合結果

近的(8射)

優勝 渡辺幸太8中(富士吉田市) 2位 坂牧雅夫7中(笛吹市) 3位 菅沼学7中(富士吉田市) 4位 金沢愛美6中(都留文科大学) 5位 舟久保正一6中(富士吉田市) 6位 坂牧梨沙6中(笛吹市) 7位 宮崎翔6中(甲府市) 8位 羽田穂高(富士吉田市) 9位 石間陽平5中(都留文科大学) 10位 渡辺律子(富士吉田市) 5中

遠的(8射)

優勝 渡辺幸太7中(富士吉田市) 2位 岩崎博6中(大月市) 3位 宮崎翔6中(甲府市) 4位 羽田穂高5中(富士吉田市) 5位 酒井紀夫5中(都留市) 6位 坂牧雅夫5中(笛吹市) 7位 野矢晴香4中(甲府市) 8位 白須吉人4中(富士吉田市) 9位 望月勝男(身延町) 10位 曾根豊4中(富士吉田市)

節目賞 篠原春奈 11位(都留文科大学)

〃 佐野好美 29位(南部町)

特別賞 伊藤マツヲ (埼玉県三芳町)

### 第28回山梨県中学校弓道選手大会

平成20年6月7日(土)於： 小瀬武道館弓道場

試合結果 団体男子

第1位 増穂中 (依田暁登・折居雅也・齋藤裕)

太) 16中第2位 櫛形中 (入倉健人・斉藤 零・内藤良太) 16中第3位 都留二中 (平井士恩・上野洸己・滝口 誠) 13中

団体女子 第1位 御坂中 (根津真弓・渡辺彩香・萩原瑠菜) 15中

第2位 石和中 (小野すみれ・石山安沙実・筒井菜緒) 12中

第3位 都留二中 (田原佳歩・吉田 桜・佐藤実咲) 11中

個人男子

第1位 増穂中 熊王彰吾 10中

第2位 櫛形中 斉藤 零 9中

第3位 都留二中 滝口 誠 8中

個人女子

第1位 御坂中 根津真弓 7中

第2位 御坂中 萩原瑠菜 6中

第3位 都留二中 佐藤実咲 6中

※団体は36射中の的中数

※個人は12射中の的中数※同中は競射による

小中体連弓道専門部委員長 依田幸男(河口湖南中)

### 第17回甲府市長杯争奪県下弓道大会

平成20年6月8日(日)

甲府市青葉スポーツ広場 青葉弓道場

参加人数 高校生 18名 一般 81名

その名のとおり矢道の緑と、けやきの青葉が目にも鮮やかになった六月、青葉弓道場において市内の高校生をはじめ広く県下一円から弓友が集い、技を競い弓に楽しんでいただいた一日ではなかったでしょうか。

支部長の矢渡しに始まり、高校生のはつらつとした元気あふれる射に続き、一般の方々の、これぞ弓道!といわれる重厚な行射を拝見し、主催者として感謝しております。

一般団体優勝は笛吹市Aの単独トップ、それに続く2位~5位の4チームの息詰まる戦いの同中競射と、個人戦優勝の酒井紀夫さんは昨年に続く連覇の偉業を成し遂げ見事の成績でした。射侯 一人8射 団体24射

高校生の部

団体 優勝 甲府城西高校12中(三枝勇介、篠原透平、東福寺剛) 2位 甲府商業C 11中(丸山渉、長田綾太、石原健太) 3位 甲府商業B 9中(樋泉清人、塩沢ひろみ、樽見ゆかり) 個人 優勝 三枝勇介6中 2位石原健太5中 3位根津里美4中 4位窪島未穂

4中 5位樽見ゆかり4中

一般の部

団体 優勝 笛吹A 15中(坂牧雅夫、藤原直之、坂牧梨沙) 2位 山梨市14中(古屋彰彦、市川秀彰、山下弘行)

3位 境川14中(佃重登、金子力、市川明)

4位 富士吉田A 14中(渡辺幸太、斉藤勝利、白須吉人) 5位 増穂C 14中(土橋亨、小澤重平、望月勝男) 個人 1位 酒井

紀夫7中 2位 羽田穂高7中 3位 望月

勝男7中 4位 白須吉人6中 5位 市川

明6中 6位坂牧雅夫6中 7位 市川秀彰

6中 8位 土屋由貴5中 9位 山下弘行

5中 (以上同中は競射により決定いたしました)

**第53回全国高等学校体育大会弓道大会山梨県予選**  
平成20年6月22日(日)第2日目  
小瀬スポーツ公園武道館弓道場  
全国高等学校体育大会弓道大会出場高校、選手

決勝リーグ戦 男子団体 甲府工業高校 出場

	A	B	C	D
A 韮崎		×	○	×
B 甲府工	○		○	○
C 山梨	×	×		○
D 甲府商	○	×	×	

決勝リーグ戦 女子団体 韮崎高校 出場

	A	B	C	D
A 巨摩		×	○	○
B 韮崎	○		○	○
C 山梨	×	×		×
D 吉田	×	×	○	

個人男子 内藤 淳貴 韮崎高校 出場

佐々木誉邦 甲府昭和高校 出場

女子個人 相原実由美 巨摩高校 出場

井上 美樹 増穂高校 出場

(山梨県高体連弓道専門部 委員長 五味仁仁)

#### ●昇格者

教士 有賀 武雄 平成20年5月1日

錬士 中込 明 " "

錬士 佐野 弥生 平成20年5月6日

(京都)

査稿先

新藤メール [s-kouhei@maroon.plala.or.jp](mailto:s-kouhei@maroon.plala.or.jp)